

(別紙2)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 4月 14日

【評価実施概要】

事業所番号	2173100328
法人名	医療法人 馨仁会
事業所名	グループホーム 花トピア可児
所在地	岐阜県可児市瀬田1646番地の5 (電話) 0574-64-0222

評価機関名	NPO法人ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル2階		
訪問調査日	平成19年4月5日	評価確定日	平成19年5月7日

【情報提供票より】 (19年3月17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 4 月 1 日
ユニット数	ユニット利用定員数計 9 人
職員数	9 人 常勤 4人, 非常勤 4人, 常勤換算 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋平屋 造り
	1階建ての 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	1,350 円	
敷金	有 (円) ○無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) ○無			
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		950 円	

(4) 利用者の概要 (3月 19日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	1	要介護2	6		
要介護3	1	要介護4	0		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 83 歳	最低	76 歳	最高	87 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	馨仁会 藤掛病院 ・ 花トピアクリニック
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

南北に走る県道を挟んで、花フェスタ公園の広大な風景が目前に広がっている。併設の老人保健施設と緊密な連携関係にあり、入居者の安心と安らぎのある暮らしを支えている。開設より職員の入れ替えはほとんど見られず、馴染みの顔のスタッフと共に、家庭的な暮らしが営まれている。管理者・職員共に学習意欲が高く、研修や資格の取得などにその向上心が伺える。また、終末医療にも積極的に取り組み、医師・看護師との24時間体制と、家族からの厚い信頼と協力を得ながら看取りが実践されている。今後も、地域密着型サービスの拠点として、益々の発展が期待される。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の主な改善点である書式の記録面の不備は、独自のまとめやすい方式にして改善が見られ活用されている。地域との付き合いに関しては、隣近所と離れた環境にあるため、ホームから広範な地域資源に積極的に出掛けている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	②	自己評価は、会議の中で、スタッフ全員の意見を聴きながら作成し、改善に取り組んでいる。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 医療体制の充実と、看取りの取り組みに関する討議を行い、参加者全員から理解が得られるよう取り組み、実践されている。
	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 苦情相談窓口を設け、対応しているが、それだけでは十分とはいえず、家族が良く訪問されるので、何でも言いやすい雰囲気づくり、湯茶・食事も(無料で)一緒に食べて頂きながら、意見など聴いて対応している。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 立地条件が、町内を形成する場所から遠く離れているため、ホームから施設や商店・寺院やイベントなどに積極的に車で出掛けている。特に、併設の老健やデイサービスの利用者との交流を通じて、身近なところからも連携の輪を広げている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者本位の、ゆったりと穏かで安らぎのある暮らしを支えるための、事業所独自の理念を持っている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員は理念の意義をよく理解し、暖かい家庭的な雰囲気づくりに向けて、日常的に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	花フェスタ公園管理事務所、知的障害者施設、かなり離れてはいるが、図書館、文化会館、神社、商店・喫茶店などと積極的に交流している。地区の農家から、野菜の差し入れも度々ある。	○	ホームからは、人家がかなり離れているので、それを補うために、こちらから積極的に広く各所に出かけるような対応がとられている。今後は、保育園・自治会の行事参加を予定されている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果による改善事項は、主体的・肯定的に受け止め、職員全員で協議しながら改善に取り組んでいる。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を、ホームの理解を最大限に活かす場として捉え、これまでは、医療・看取りに関する話し合いが行われている。次の新たなテーマとして災害対策も準備している。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護保険担当者の緊密な連携があり、情報交換など行っている。また、市の介護相談員を定期的に受け入れている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ホームでの暮らしぶりを、写真集や便りで報告し、必要に応じて電話でも報告している。金銭は、出納を明確にし、家族に確認してもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が意見を述べることはほとんど無いので、訪問時などに、良好な関係づくりをすることで、意見を引き出すように努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者・職員の異動、退職が少なく、馴染みの顔が維持されている。権限の分担、組織の連携・協力体制が定着に結びついている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じた育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修の機会が確保されている。研修受講中は勤務扱いとなっている。職場の実務経験で5名が介護福祉士の資格を取得している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2つの事業者と提携しており、職員が同数ずつ入れ替わり、体験実習が行われている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者が徐々に馴染むように、部屋の案内表示を特別に工夫したり、ゆっくりした優しい言葉掛けや、家族の協力も得ながら取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理の準備や家事手伝いなど、職員と一緒に会話を楽しみながらの光景が見られた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<input type="checkbox"/> 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望を尊重し、買い物、散歩、花壇づくり、趣味など力量に応じて、場面提供し、自分で選択できるように支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<input type="checkbox"/> チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の身体的、精神的状況を把握し、家族とも相談しながら利用者本意の計画をスタッフ全員で検討し作成している。		
16	37	<input type="checkbox"/> 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月毎の定期見直しの他に、毎月ケアカンファレンスを行い、状態の変化に応じた見直しを家族と相談しながら作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<input type="checkbox"/> 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	馴染みの関係を維持しながら、自宅からの住み替えの手順をマニュアル化し、本人・家族に提供している。		

外部 評価 値	自己 評価 値	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設老健の医師による往診が、毎週土曜日に行われ、家族には安心と納得が得られている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に医療連携体制の書面で、本人・家族と同意書を交し、合意の上で署名されている。また、ホームと医療との契約書も整っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	排泄介助では、さりげない言葉掛け、さりげない誘導に心がけている。他のプライバシーに対する配慮にも、リーダーの指導が徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れの中で、老健で行われている体操を取り入れているが、自由参加となっている。食事の時間や入浴・外出も入居者のペースに配慮している。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買出しには、当番順に入居者と出かけている。調理の準備を一緒にすることで、会話が盛り上がる食事風景となっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の嫌いな入居者が多いので、職員は、何気なく脱衣所に2人で入り、「せっかくなので、一緒に入りましょう」と誘導して成果が得られている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	編み物の得意な人、習字・塗り絵、花壇づくり、イベント参加など支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	花トピア公園があり、売店での買い物を楽しんだり、弘法寺おくりさんの講話を聞いたり、喫茶店、バイキングなど盛りだくさんの外出の機会を支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は入居者の行動を把握でき、鍵は掛けず、見守りで対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	併設老健と合同の防災訓練を行っている。また、ホーム独自の避難訓練も年1回実施している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	検食表で個別に摂取量が記録され、併設老健の管理栄養士の指導を定期的に受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下の数箇所と、トイレ前に長椅子が設置されている。また、畳のコーナーもあり、食堂兼居間が主な団らんの場である。装飾品、備品も家庭的なものとなっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、馴染みの家具や鏡台・小物類があり、家族の写真も飾られている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	右同じ
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	右同じ
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	○	ホームを各方面にアピールして行きたいと思っています。
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	ホームを各方面にアピールして行きたいと思っています。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	これからは、保育園等の行事（運動会・音楽会）や自治会の行事に参加する。
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	○	管理者が認知症サポーターの研受けましたので、これを生かして役立てたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎年行う外部評価により、改善項目を話し合い改善に努めています。	○ 右同じ
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進の中でのご意見は、次回に反映させています。 看取りに付いて全家族の参加にて、話し合いを行いました	○ 委員の皆様意見を聞き、ホームの改善に努めたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	疑問点など、市職員に聞きサービスの向上に努めています。	○ 右同じ
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者のみ講演行きました。 現在の所、該当する入居者の方が見えませんでしたので、管理者のみ把握していたように思います。	○ 講演の機会を職員にも広げる。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止につてニュースなど見て意識しています。 現行ホームではおこなうっていません	○ 講演の機会を職員にも広げる。
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に説明しています。 疑問点については、納得いくまで説明します。	○ 右同じ

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部から介護相談委員の方が見えます	○	右同じ
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、お便り、電話等で随時連絡しています。	○	右同じ
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱、面会簿等に記入する場所を設けてあります。 電話や面会時に相談にのります。	○	右同じ
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホーム長は、定期的見え意見や要望を着てくれます。 意見箱設置しています。	○	右同じ
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の変化に応じて時間調整しています。	○	右同じ
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	移動はなく定着しています。	○	右同じ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々に応じて研修行い、併設の老健の勉強会参加しています	○ 認知症の知識を深める努力を怠らないようにする。 医学的観点からよりよく知識を高める。 研修に参加する機会を増やす
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	協議会等に参加しています。	○ 他のホームとネットワークを作り向上をはかる
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	旅行・忘年会等を行っています。 職場は明るい雰囲気になるよう勤めています。	○ 右同じ
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々にあわせて、希望は聞いています。	○ 右同じ
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	慣れるまで、側に寄り添い不安をなくす努力をしています。	○ 右同じ
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	其の時其の時に応じて、蜜にし不安をなくす様努めています	○ 右同じ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	身体的不安は、看護師や医師に相談しそれぞれの専門に意見を聞いて対応しています	○ 右同じ
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前は数回の練習を行い、本人とご家族様が納得していただきながらおこまっています。	○ 右同じ
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の会話やお料理しながら、関係を築いています 個々にもっているお話を聞きだしいろんな場面で活用しています	○ 右同じ
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話や居室担当等で関係を築いています	○ 右同じ
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族会・誕生日会と一緒に台所に立ち和を作っています。	○ 右同じ
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも誰でも面会に来ていただき、便りを世帯主だ毛ではなく兄弟にも発送しています。	○ 右同じ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	毎朝体操後に、仲良しの言葉読み支え合いゆっくりと生活しています。	○	右同じ
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後の様子や家族の連絡は大切にしています。	○	右同じ
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その人らしく暮らすことを大切にしながら、職員全員で検討した直ちに取り除く事に努めています。	○	右同じ
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人誌を聞き取り、サービスに努めています。家族、兄弟方々にお話を聞き、何が好きか得意か見つけてだしています。	○	右同じ
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	家族に生活歴を書いていただき、ここの状態を把握しています。	○	右同じ
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の希望を聞き課題分析を行い、介護計画に反映する。	○	右同じ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月のモニタリングをおこない、見直しを行っています。 様態変化時は其の都度行います。	○ モニタリング時できるだけ、家族も参加して行う。
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人ひとりの行動、食事量、排泄、の記録を記入し、職員全員で把握出来るようにしています。	○ 右同じ
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設の老健に毎日体操に行く 夏祭り・各行事に参加	○ 右同じ
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の意向でなく、ホームの意向で図書館。保育園等に協力していただきたいと思います。	○ h19年度は、積極的にホームから外に宣伝したいと思います。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域のサービス事業者にて、杖・靴など相談しながら支援しています。	○
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	包括支援センターとのかかわりは、持っていません。 他の支援センターに福祉用具等を相談受けています。	○ h19年度運営推進依頼

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	認知症が進み、ご家族に御相談専門医院にかかっています。	○ 専門医院による知識をもっと取り入れる
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症が進み、ご家族に御相談専門医院にかかっています。	○ 専門医院による講演に参加して、知識を高める。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携により密になっています。 日常の健康管理は、定期的に診察を受けています。 (併設のクリニック出で受診)	○ 右同じ
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療連携により密になっています。 入院した時、入居者のかたと一緒に訪問して励まします。	○ 右同じ
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	全入居者のご家族の方と職員、市職員の方々と終末期について話し合いの場を設けました。 個々については、家族、医師・看護師・職員とで話し合いを行い、本人の意思を大切にします。	○ 右同じ
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族の意向を聞き職員話し合いを行った。 医療連携により医療については、不安はないが介護側にまだまだ不安がある為勉強の機会を設ける。	○ 入居者の変化により、其の時其の時に応じて、疑問が生じたとき直ちに勉強会、家族と話し合いを設ける。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	右同じ
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	個々の希望をよりよく理解するように、努力する
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している</p>	○	個々の希望をよりよく理解するように、努力する
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	個々の希望をよりよく理解するように、努力する
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	右同じ
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	右同じ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	加齢に伴ない好みも変わるので、いつも注意しながら支援する
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	右同じ
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	右同じ
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	右同じ
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	右同じ
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	○	右同じ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買物、散歩、老健体操を日常的におこなっています。	○	右同じ
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個々の希望によっては、職員でかなえることが出来る場合は職員とお出かける様支援していますが、昔の家などは、家人に相談しなるべく希望がかなう様支援しています。	○	右同じ
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望で、電話をかけたい場合は職員がダイヤルを回し直接本人同士がお話ができるよう支援しています。	○	右同じ
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家人の方は、自分のスリッパを下駄箱に保管しており、いつでも気軽に訪問できるよう、工夫しています。おやつ時でも訪問者に都合がよければあいは一緒に食べて頂きます。その後居室にて会話を楽します。	○	右同じ
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	開設以来身体拘束を行っていません。	○	右同じ
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵はかけていません	○	右同じ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	本人の意思を尊重し居室や居間での所在を把握して。常に見守りをおこなっています。	○	右同じ
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤・包丁・はさみ等、使用しない時は保管場所にしまします。使用時は、職員が見守りを行っています。	○	右同じ
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ホームのマニュアルを作り対応しています。一人ひとりの状態に合わせ、夜間トイレ誘導や薬の変化に合わせて取り組んでいます。	○	右同じ
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	併設施設と学習会への参加 個々に疑問等は、看護師に聞き申し送りで伝えています。	○	右同じ
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	併設施設との連携し、いつでも職員の協力体制が出来ます。 (防災訓練も併設施設と行う)	○	ホームないでも年1回実施していますが、2回実施する
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	個々にその都度ご家族と相談しながら。状態が変化してもその人らしい生活を支援しています。症状によっては、家族一緒に専門医院へ相談に行きました。	○	右同じ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック、排泄の確認をしています。 また生活の中で身体的、精神的変化に注意し医師、看護師との連携を図っています。	○ 右同じ
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬担当者が個々の薬表やカルテを作り記載してあります。 薬変更等があった場合、説明書に目を通し申し送りを確実にを行う。	○ 薬について以前薬剤師により、講義を受けましたが、これからも続けたいと思います。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけ等に取り組んでいる	水分補給と毎朝の体操での腸マッサージを行っています。 果物、野菜等を意識して食事に組み込んでいます。	○ 右に同じ
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯磨き表を作り一人ひとりにあった口腔ケアを実施しています。	○ 右に同じ
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	健康状態が変化した時など、瞬時に対応しその人に合わせてた食事をつくり支援しています。 記録に残し観察する	○ 右に同じ
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	各マニュアルを作り取り決めをしている。 食前の手洗いウガイを（5回）を実施しています。 手すり、ドアノブなどの消毒を行っています。	○ 右に同じ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所用具は曜日毎によって消毒を行い、随時築いた時にも行っています。 生ものは、専門店による配達、他はその都度買物に行く	○	感染線を防ぐ努力を怠らない。 いつも清潔を保つ
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	草花を植えたり、玄関に椅子を置き会話ができるよう工夫してあります。	○	右に同じ
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間、居室とも明るく、太陽光が強いときなどは吉津など利用しながら居心地よい空間を作っています。	○	右に同じ
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間では入居者同士が一緒に過ごせるスペースと廊下にベンチ等があります。	○	右に同じ
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々に思い出の家具を持ってきている。 家族の写真など持ってきている方もいます。	○	家族にも協力していただき生活しやすい空間にする
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日の天候によって、室内の温度を変え過ぎしやすい様に配慮している。 毎朝の掃除と2時老健体操時に換気を行っている。	○	右に同じ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリー・手すりなどが設置してある。	○ 加齢になりその都度改善を行っていきます。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ぬりえ・編み物・計算・着物ほどこ等一人ひとり似合った方法で行っている。出来る力を維持して頂く様に、日中の活動を行っています。	○ 右に同じ
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭での水遣りや広い外周りを散歩・散歩を行っている。気候の良い日は、テーブルを出してお茶会をします。	○ 右に同じ

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ホームの一番大切なことは、家であり入居者様の在所属でありたいと思っています。ご家族様がお母さんに会いに来る時は里帰りする気持ちでできただきたいと思っています。いつもアットホームであり職員は嫁であり娘でいます。共に日々の生活の中で泣き笑い、よりよい生活を送ることをモットーにしています。面会してお帰りになるとき、入居者様も共に笑顔でお別れする事ができるケアを目指しています。

業務の取り組みの中で、職員それぞれに担当があり責任は個々に持ち指揮する事は、管理者でなく各担当が行う。

其の中で日々の生活は、リーダーさんが他の職員と話し合い入居者様が心地よい空間作りをしています。